

# 「認知症のリハビリテーション」研修会

令和5年度 老人保健健康増進等事業  
「訪問による認知症リハビリテーションの効果についての調査研究事業」の普及啓発事業

認知症施策推進大綱では「認知症の人に対するリハビリテーションについては、実際に生活する場面を念頭に置きつつ、各人が有する認知機能等の能力を見極め、最大限に活かしながら日常の生活を継続できるようにすることが重要」とされています。認知症の方にリハビリテーションを活用することも、ご本人とご家族の希望する日常生活を続けることにつながります。本研修では、認知症の基礎知識と、認知症のリハビリテーションについて、またそれをケアプランにどのように位置づけるか、事例も通して理解を深めていただけます。ぜひご参加ください。

日時

2024年1月30日（火）13:00～15:40

開催形式

Web開催（Zoomウェビナー）

参加対象

介護支援専門員（定員480名）

参加費

無料（要事前申し込み）

プログラム

13:00-13:05	開会挨拶 日本介護支援専門員協会 会長 柴口 里則 氏
13:05-14:05	認知症の疾患特性について *事前収録 講師：全国自治体病院協議会 精神科特別部会長 北村 立 氏 講師：日本認知症学会 監事 新美 芳樹 氏
14:05-14:25	認知症のリハビリテーションについて 講師：日本作業療法士協会 常務理事 村井 千賀 氏
14:25-14:35	休憩
14:35-15:25	事例紹介 講師：日本作業療法士協会 常務理事 村井 千賀 氏
15:25-15:35	認知症のリハビリテーション・介護支援専門員への期待 講師：認知症の人と家族の会 事務局長 鎌田 松代 氏
15:35-15:40	閉会挨拶 日本介護支援専門員協会 常任理事 中林 弘明 氏

※お申し込みいただいた方は後日オンデマンドによる見逃し配信もご覧いただけます。

申込方法

日本介護支援専門員協会ホームページよりお申込みください。  
（詳細は別紙参照）

申込締切

2024年1月15日（月）正午

問い合わせ

一般社団法人日本介護支援専門員協会 事務局  
☎03-3518-0777 ✉jigyouka@jcma.or.jp



# 日々の暮らしを続けるために。認知症のリハビリテーションがあります。

## 環境を整備する

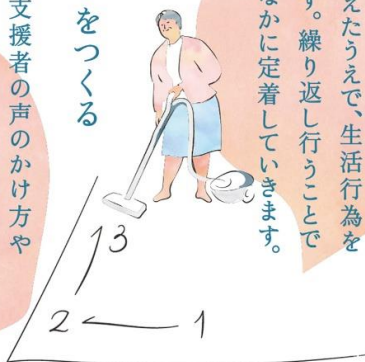
時間を把握しやすくなる時計やスイッチを見やすくした家電など、暮らし周りの「もの」に工夫をすることで、できるようになる生活行為があります。

## 繰り返し練習する

環境を整えたうえで、生活行為を練習します。繰り返し行うことで暮らしのなかに定着していきます。

## より良い 関わりをつくる

ご家族や支援者の声のかけ方やタイミングも大切です。ご本人を支え、ご家族も楽になる方法を考えていきます。



認知症のリハビリテーションとは、「実際に生活する場面を念頭に置きつつ、有する認知機能等の能力をしっかりと見極め、これを最大限に活かしながら、ADL(食事、排泄等)やIADL(掃除、趣味活動、社会参加等)の日常生活を自立し継続できるよう」に進めていくことです。医師の指示のもと、医学的評価に基づいて私たち作業療法士が暮らしの場を訪問して生活の状況をアセスメントし、お一人お一人の状態に応じた計画を立て、自立した日常生活の継続を支援していきます。

\* 2015年「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者にやさしい地域づくりに向けて～(新オレンジプラン)」

このリーフレットは令和4年度老人保健健康増進等事業「訪問による効果的な認知症リハビリテーションの実践プロトコルの開発研究」で作成しています。

